

2023 年度 第 6 回環境科学部フィールドスクール（2023/11/12）

「森林ボランティア（竹林整備）」が行われました。

2023 年 11 月 12 日（日）第 6 回フィールドスクールでは、長崎県森林ボランティア支援センターの支援のもと、「森林ボランティア（竹林整備）」というテーマで実習を行い、11 名の学生が参加した。

竹は、タケノコなどの食用の他・竹材・竹皮・竹炭など広く利用されてきた。しかし、近年、輸入タケノコやプラスチックの普及、また山村地域の高齢化により竹林は放置され拡大し、侵入竹等の影響から森林全体の公益的機能の発揮に支障が生じている。本フィールドスクールでは、支援センターのスタッフに竹林の現状及び竹林の適正な管理活用についてレクチャーを頂いた後（写真 1）、手ノコを用いて竹林の整備を体験した。竹の除伐（不要な竹を切り倒す）や集積（枝を払い、1m 程度に切り分け、集める）作業などを行なった（写真 2, 3）。その後、枯竹を集め、薪として利用して湯を沸かし、うどんを作り、昼食をとって終了した（写真 4）。

本フィールドスクールは、森林・竹林問題への対処を身体的に体験するよい機会となったのではないかとと思われる。学生のなかには、竹の伐採の経験がある者から初めての者まで様々であったが、後者の学生も、フィールドスクールの終了時には、かなり慣れた様子で手ノコの作業を行っていた。ケガやトラブルなく終了し、楽しい体験・昼食の機会を得られたのは、支援センターのスタッフの方々の行き届いた手配と適正な安全管理の賜物であった。



写真 1：竹林について説明を受ける



写真 2：竹を切り倒す



写真 3：竹を切り分ける



写真 4：集合写真